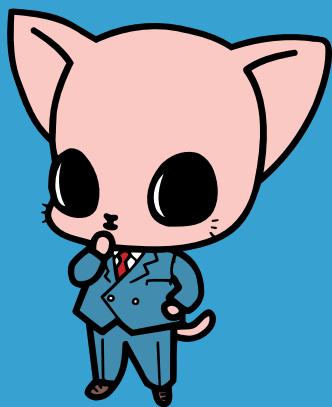


S H I M A N E B A N K



しまぎんの経営情報

2003年(平成15年)12月期
【単体・速報ベース】

I

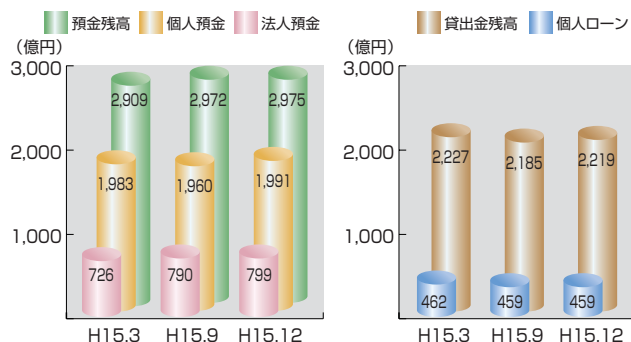
営業実績

収益性のバロメータ

平成15年12月期の預金・貸出金・個人預り資産の状況および業績予想（平成16年3月期）は次のとおりです。

■預金・貸出金の状況

	平成15年3月期	平成15年9月期	平成15年12月期
預金残高	290,934	297,223	297,528
うち個人預金	198,330	196,028	199,169
うち法人預金	72,641	79,029	79,909
貸出金残高	222,743	218,596	221,980
うち個人ローン	46,214	45,966	45,906



■個人預り資産の状況

お客様の多様化する資金運用ニーズに積極的に対応した結果、個人預り資産残高は着実に増加しております。

	平成15年3月期	平成15年9月期	平成15年12月期
個人預り資産	199,518	201,956	205,836
個人預金	198,330	196,028	199,169
投資信託	486	836	1,107
公共債	255	472	515
年金保険	446	4,618	5,043

■業績予想 (平成16年3月期)

	平成16年3月期予想	(億円)
経常収益	73	
経常費用	70	
業務純益	16	
経常利益	3	
当期純利益	2	



※上記の予想値は、経営環境に関する前提条件の変化に伴い変動することがあります。

II

自己資本比率

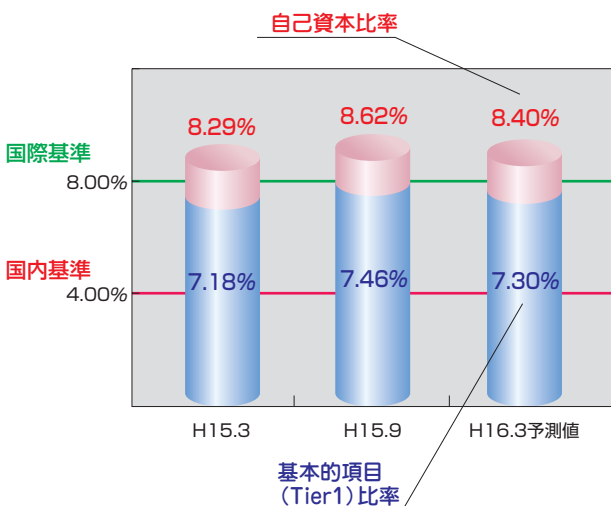
健全性・安全性のパロメータ

自己資本比率とは、貸出金や有価証券等の銀行が保有する資産に対し、資本金や引当金等の内部資金をどの程度保有しているかを見る指標で、銀行の健全性を示す重要な指標です。

(%)

	平成15年3月期 実績値	平成15年9月期 実績値	平成16年3月期 予測値
自己資本比率	8.29%	8.62%	8.40%程度
Tier1比率	7.18%	7.46%	7.30%程度

※上記の予測値は、経営環境に関する前提条件の変化に伴い変動することがあります。



自己資本比率について

- ◆当行のように国内基準の対象となる銀行では、自己資本比率が4%以上あることが求められています。
- ◆平成15年9月期の自己資本比率は8.62%であり、国内基準の4%はもちろんのこと、国際基準(海外店舗を持つ銀行の基準)の8%も余裕をもってクリアしています。なお、平成16年3月期は、8.40%程度を予測しています。

基本的項目 (Tier1) 比率について

- ◆基本的項目 (Tier1) 比率とは、本来の自己資本をあらわす「基本的項目」(資本金や剰余金など)によって算出される比率のことです。
- ◆平成16年3月期は7.30%程度を予測しており、この比率だけでみても国内基準の4%をクリアする見込みです。

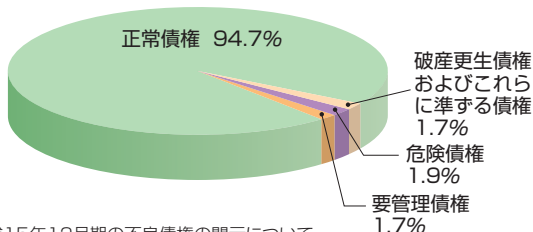
Ⅲ 不良債権

健全性のバロメータ

金融再生法に基づく資産査定開示額（貸出金及び支払承諾等貸出金に準ずる債権を対象）は次のとおりです。

（百万円）

債権の区分	平成15年3月期	平成15年9月期	平成15年12月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,492	3,094	3,861
危険債権	5,002	4,363	4,300
要管理債権	2,872	3,987	3,837
計	10,367	11,444	11,999
不良債権の割合	4.50%	5.08%	5.25%
正常債権	219,667	213,493	216,181
合計	230,034	224,938	228,181



※平成15年12月期の不良債権の開示について

- ・平成15年9月末から平成15年12月末までの倒産・不渡り等の事実ならびに当行の資産自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行いました。
- ・平成15年12月期の不良債権残高には、債務者区分の変更と認められる債務者の債権額またはこの間の増減額を反映しています。
- ・集計方法については、年度末及び中間期末に開示する方法とは異なるため、計数は連続しておりません。
（監査法人の意見は決算期に受けることになります。）

Ⅳ 有価証券

健全性のバロメータ

平成15年12月期の有価証券の評価損益等は次のとおりです。

（億円）

		平成15年3月期	平成15年9月期	平成15年12月期
満期保有目的の債券	含み損益	1.0	▲3.6	▲3.5
その他有価証券	評価差額	▲27.0	▲21.4	▲22.1
内 訳	債 券	2.0	▲8.9	▲8.7
	株 式	▲12.0	▲3.8	▲4.3
	そ の 他	▲17.0	▲8.6	▲9.0

※「売買目的の有価証券」はありません。

※「子会社・関連会社株式」で時価のあるものはありません。

※内訳中の「株式」および「その他」に含まれる投資信託の評価損益等は、平成14年度は月末時価で、平成15年度は月中平均時価に変更し表示しております。

しまぎんとピックス

◆第三期「しまぎん住宅金融学校」の開催 (平成15年11月17～18日)

当行では、経営理念にある「地域社会発展への貢献」「魅力あるサービスの提供」のさらなる充実化とその実現に向け、「第三期 しまぎん住宅金融学校」を開催いたしました。

本校は、当地において建築業を営む企業の営業担当者を対象に、人材育成を主眼とした金融面での総合的なサービスの提供を目的として実施しております。

今回は、以前よりご要望の多かった島根県西部(益田市)での開催となりました。

<講義の概要>

- ①営業手法について
- ②住宅金融公庫証券化事業について
- ③住宅・土地に関わる税務知識について
- ④住宅ローン商品知識について



◆「リレーションシップバンキング機能強化計画の進捗状況」の要約発表(平成15年11月27日)

当行では、「リレーションシップバンキング機能強化計画」を策定し、当地において中小企業の再生と地域経済の活性化のお役に立てるよう、本支店一丸となった活動を展開しております。

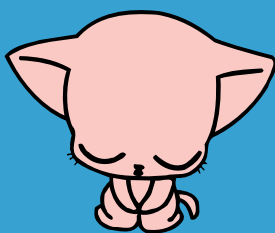
平成15年11月には、同計画の進捗状況(平成15年上期:4～9月)をとりまとめ、その要約を公表いたしました。

当行では、この要約を地域のみなさまに広く公開し、当行がこの計画に基づいて取り組んできた事項について、ご理解を賜りたいと考えております。

本ミニ・ディスクロージャー誌は、しまぎんの主要な経営情報をタイムリーに、また、分かりやすくお伝えすることを目的として作成しております。

今後も地域のみなさまに、積極的な経営内容の情報開示をおこなってまいります。

なお、本誌記載の情報は当行ホームページに掲載しております。



島根銀行

松江市東本町2-35 〒690-0842 TEL.0852-24-1234 (代表)
URL.<http://www.shimagin.co.jp>

平成16年1月 発行 島根銀行業務企画グループ